



夢
の
続
き

R18

ぴいきゅん
Project

——あなたを腕に抱いて、私は夢を見る。

※一応以前出した「夜明けの夢の中で」という本の続きのイメージで描いていますが、そちらを読んでいなくても大丈夫だと思います。

—ダリユーン、
今は夢の中
だから—…

…だから、
大丈夫だよ、
何があっても。

—もしかしたら、

ん…っ

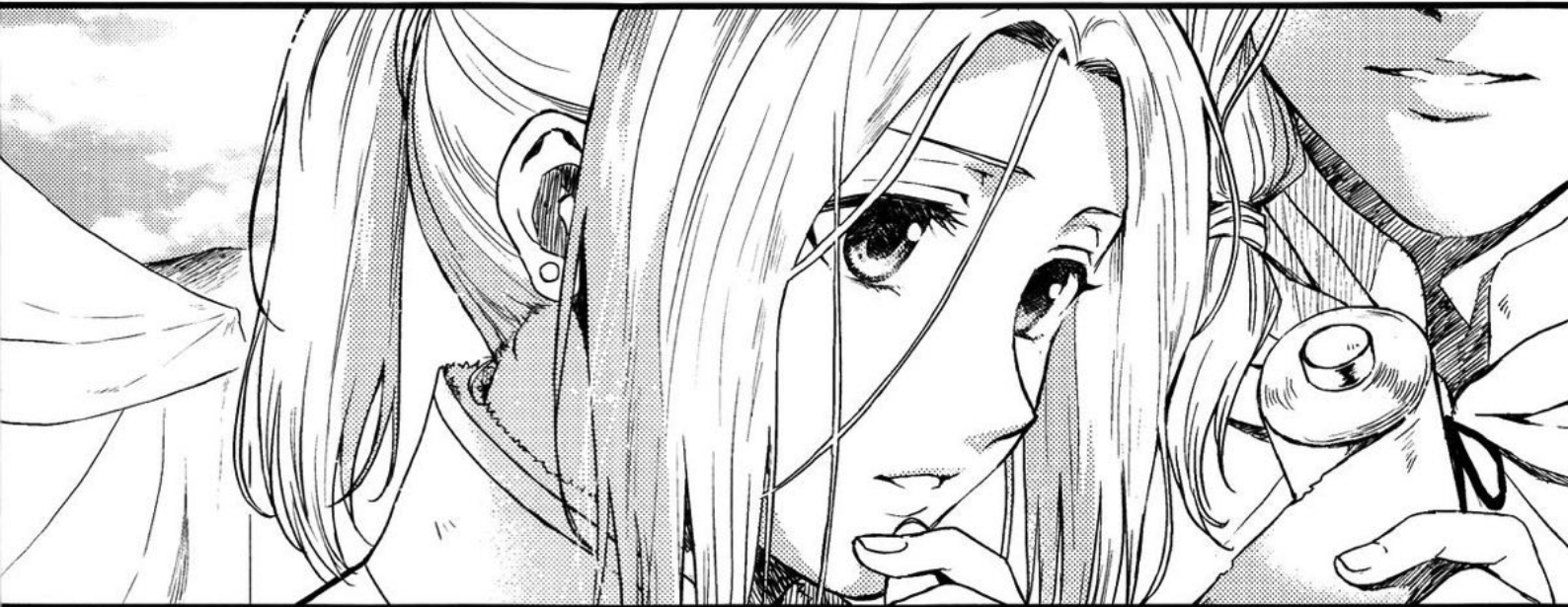
本当に、これは夢なのではないかと思う時がある。

ふっ…

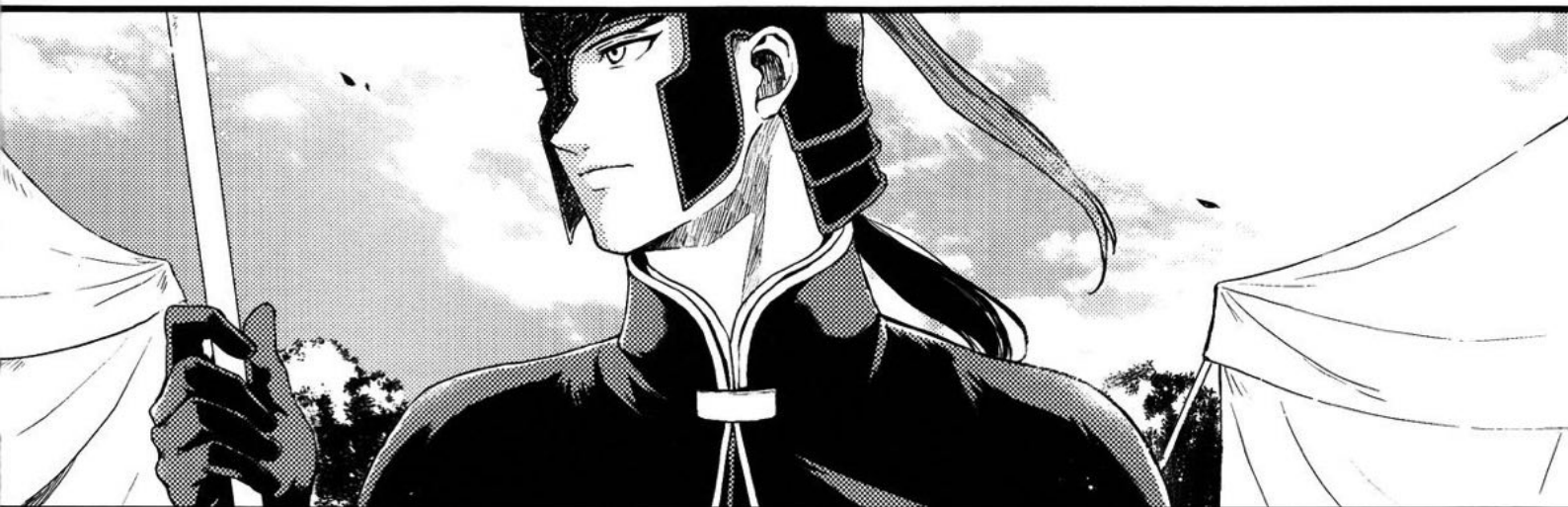
んう、

…この体温を疑う訳ではない。

ッは…



そう思うのはいつも、

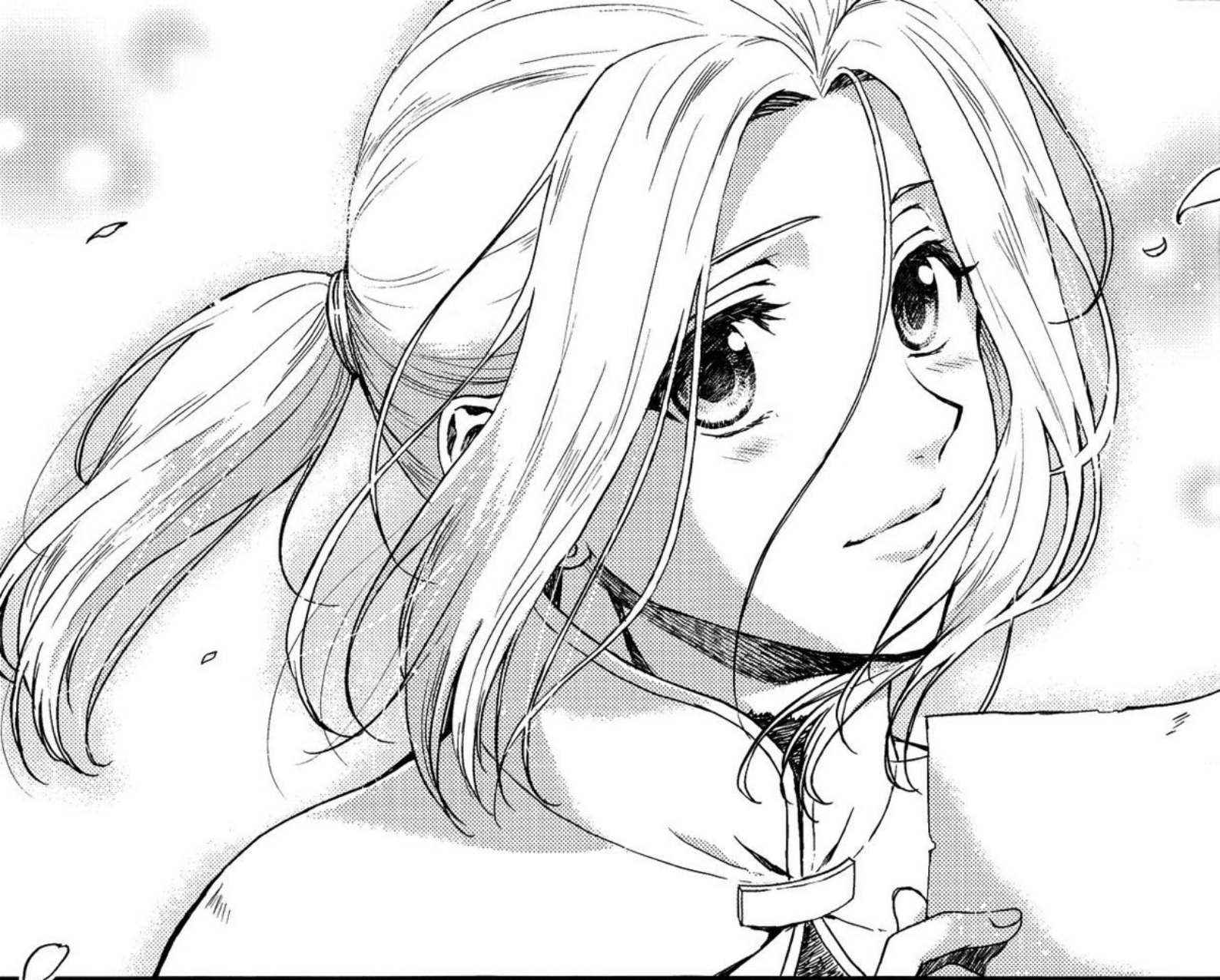


その夜が明けた後、




おそらく貴方があまりにも——





…だから、俺は——





もしかしたら、本当に、

夢
の
続
き





—ダリユーン、
ここでは…

…誰か、
来るかも
知れぬ。

大丈夫
です。

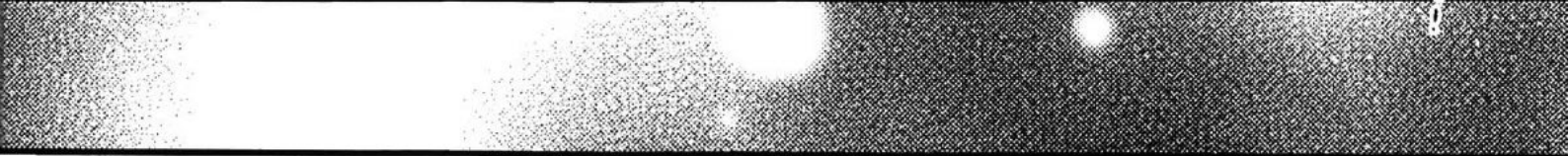


…し、
しかし…っ



…ご心配には
及びませぬ、
殿下。

今は……



夢。



確か、ナルサスから書物を借りたので、



…ああそうか、眠っていたのか、私は。



今晚のうちに読んでしまおうと思つて…

読んでいるうちにそのまま…



……



…真面目な書物を読んでいたはずなのに、

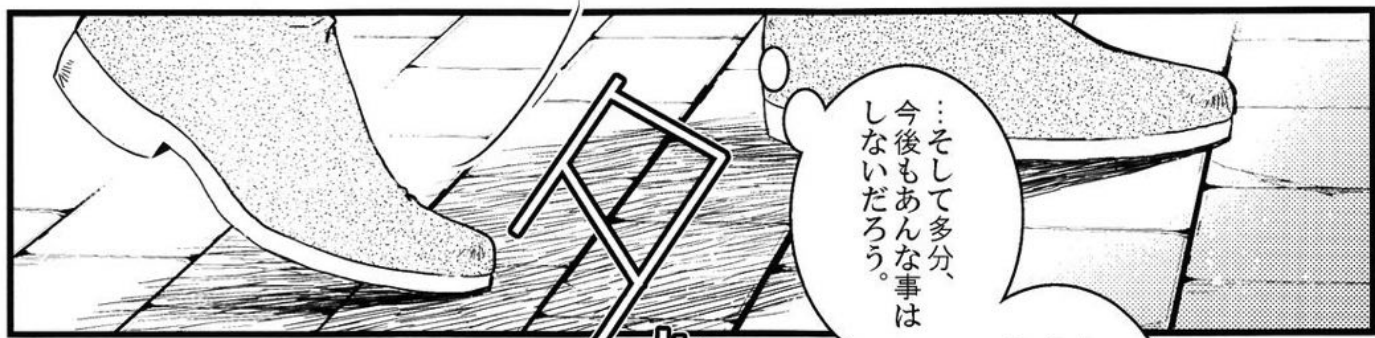
なんて夢を見て、私は…



ダリユーン
から
あの
ように…

場所を
わきまえず
求められた事など
無いのに。

…どうして
あの
ような夢を
見た
の
だ
ら
う。



…そして
多分、
今
後
も
あ
ん
な
事
は
し
な
い
だ
ら
う。

—私
から、
求
め
な
い
限
り
は、
お
そ
ら
く。





——ダリユーン、

良いか？



どうか
されたのですか、
危ないでは
有りませんか
お一人で……！

何か
あったら……

あ、
ああ、
いや……

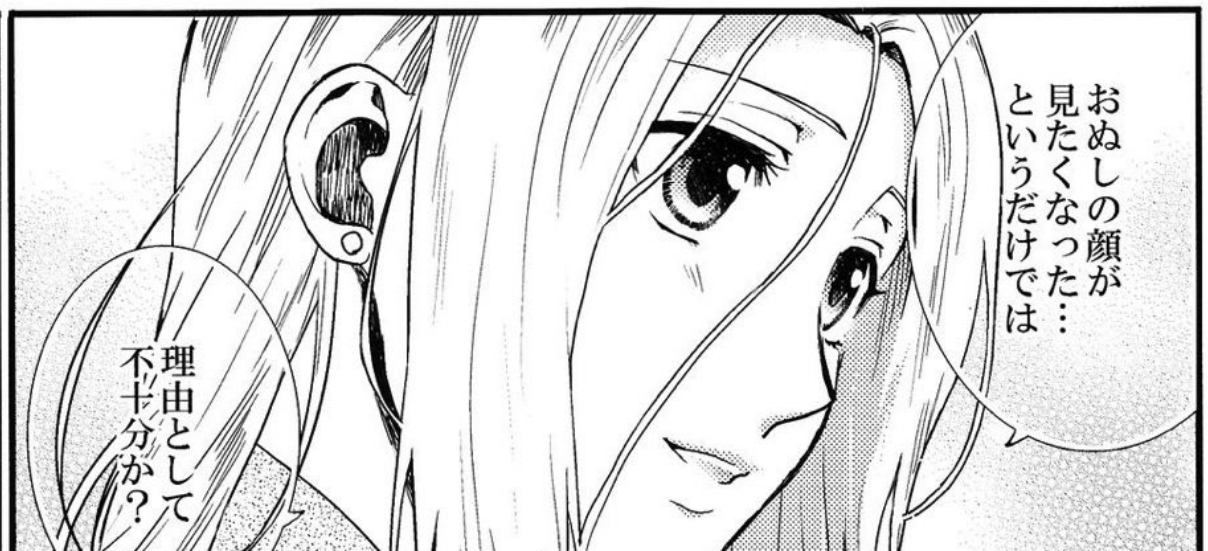


殿下！

すまぬ、
こんな時間に。



……



おぬしの顔が
見たくなつた……
というだけでは

理由として
不十分か？



…十分以上です、殿下。ですが――

それならば誰か使いを寄越して、私を殿下のお部屋にお呼びつけください。

しかし、あまりいつもそういう事をしてると…その…

…殿下、



私も気を付けてはおりますが…こういう事は誰にも全く気が付かれずに難しいもので…

おそろくなのですが…もう勘付いている者もいるかと…

えっ…

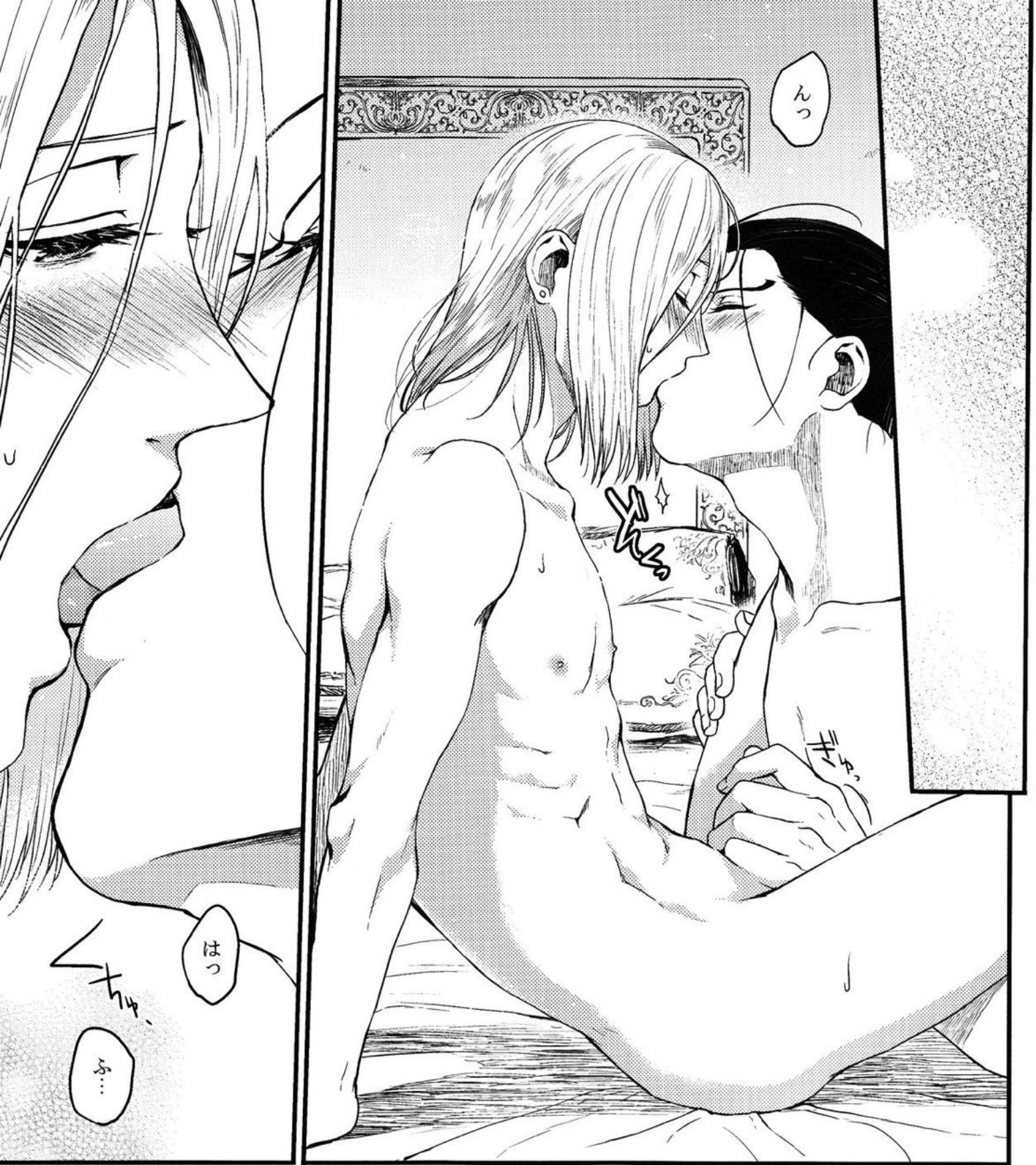


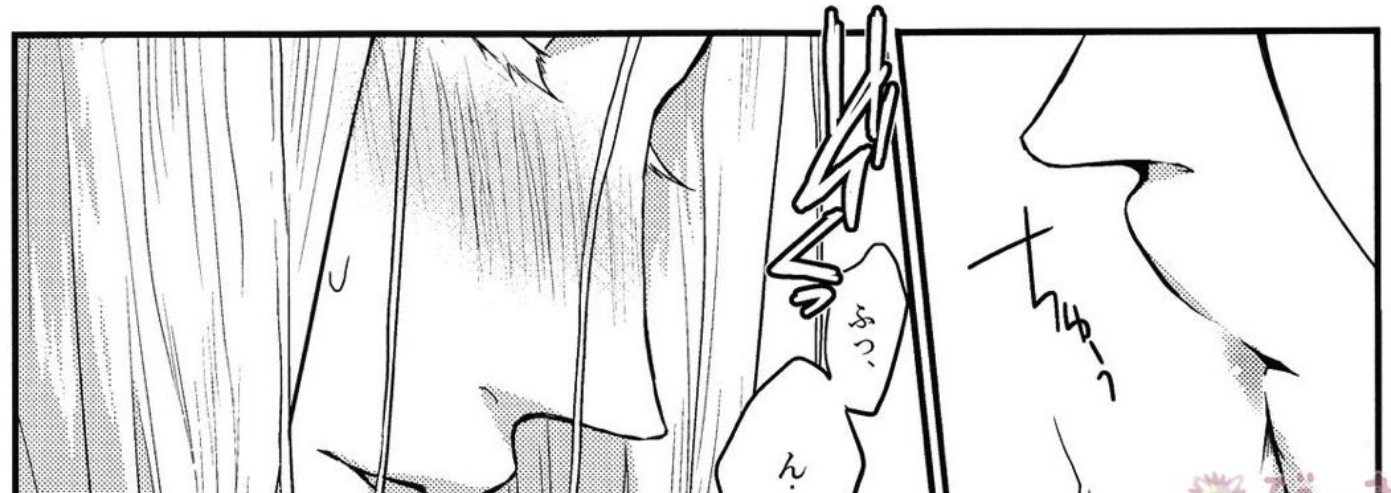
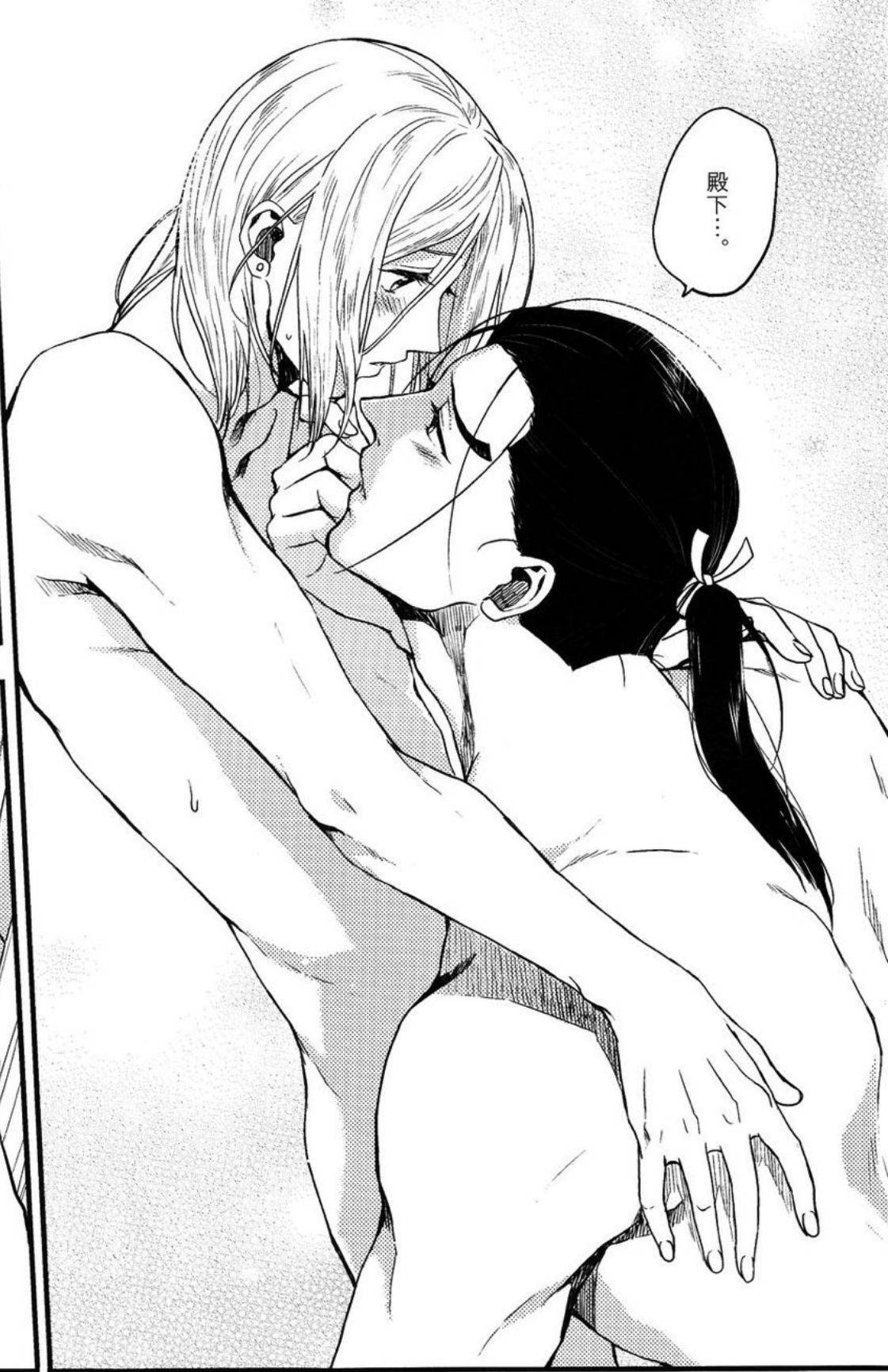
そっ

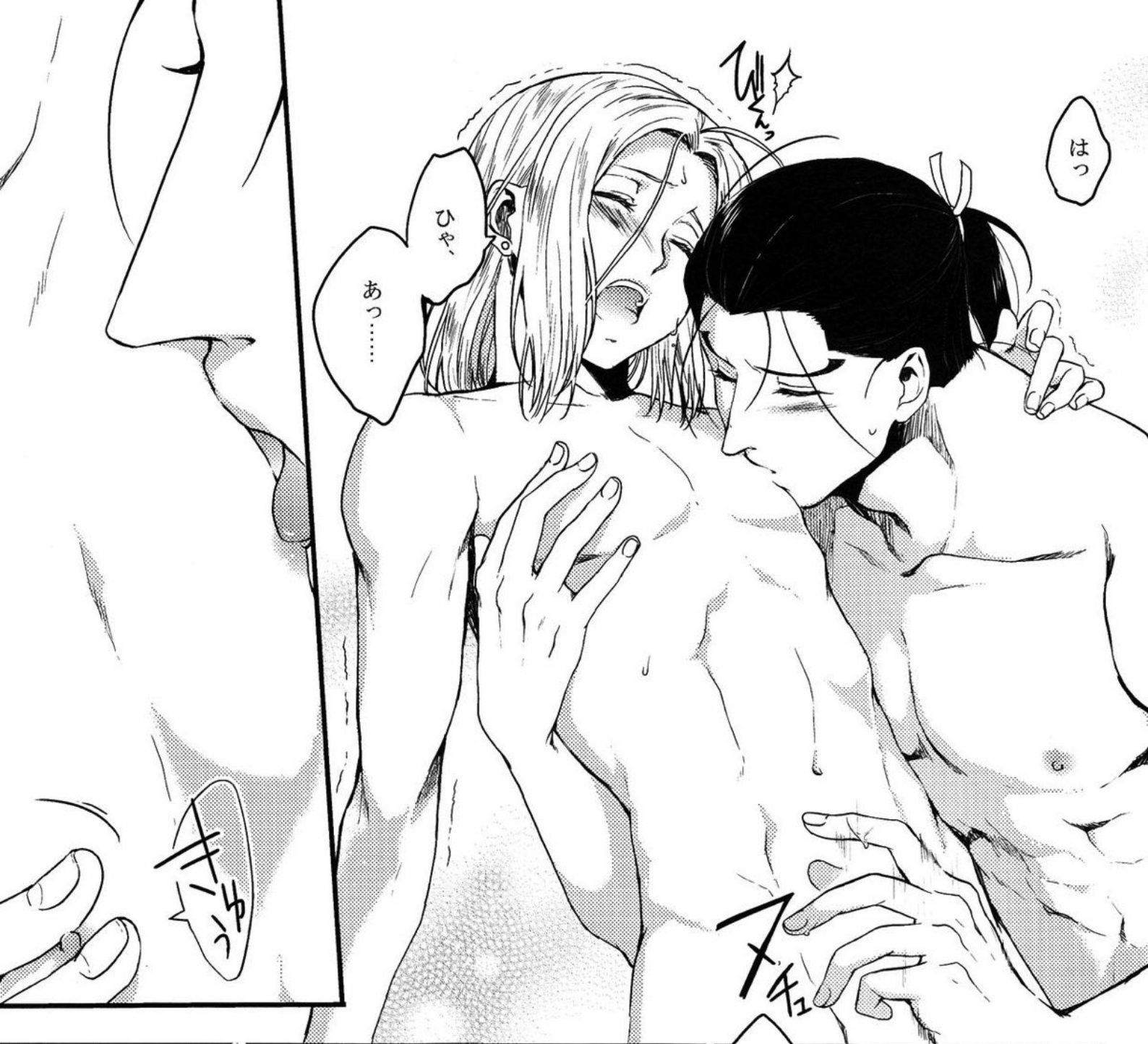
そうか…
そうだな…
…うん。

ご要件は本当に顔をご覧になるだけでよろしかったですか？

…それで
殿下、









…タリユーン、

なんですか、
殿下。

先程…
ここに来る前
夢を見たのだ。

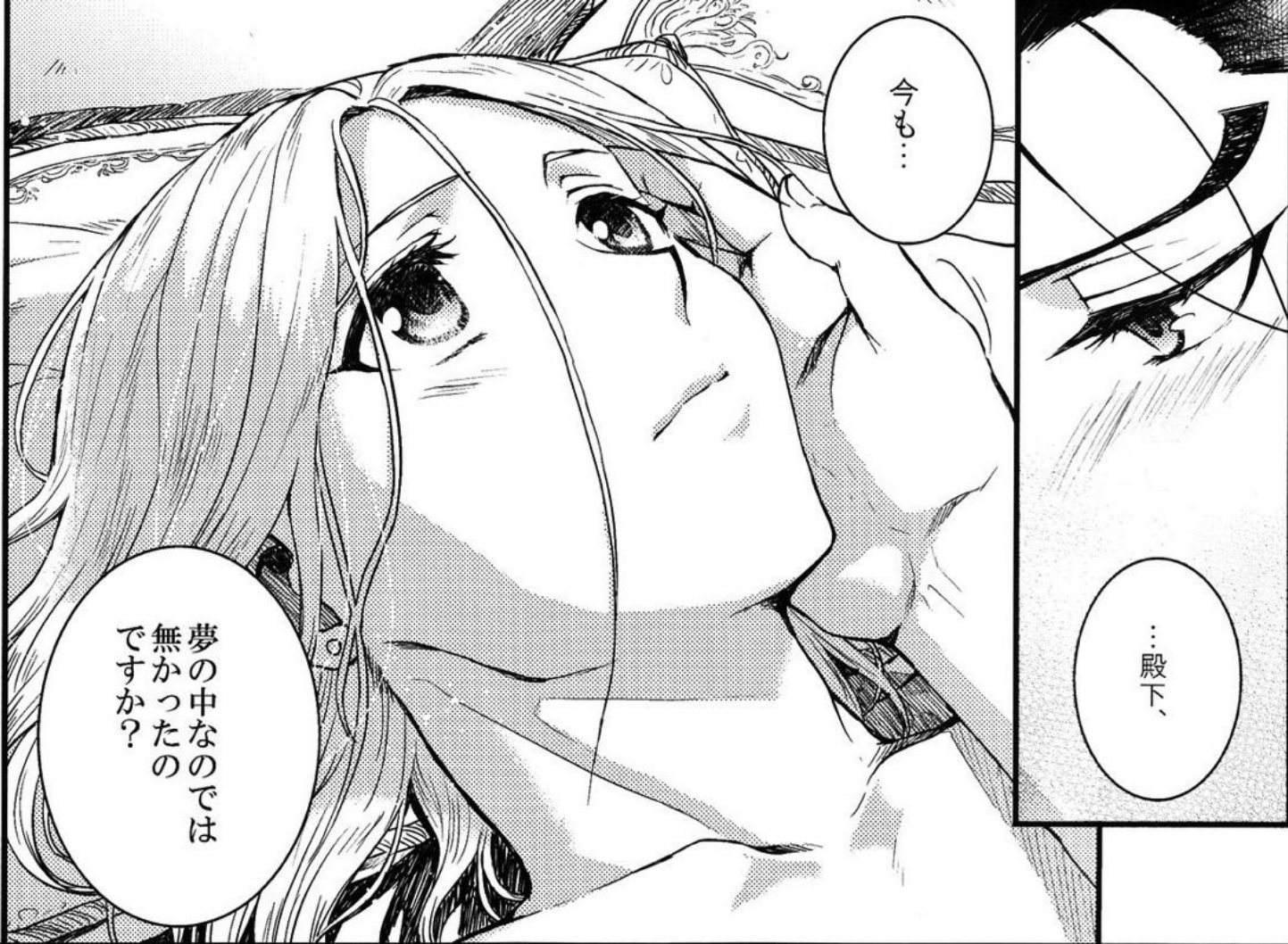


おぬしとその—
…こういう事を
する夢を…



…でも、
夢の中より
ずっと

今の方が
良い。



今も…

…殿下、

夢の中なのでは
無かったの
ですか？



…そう
だったな、

でも…



おぬしも
言っていた
だろう？

もう誰かに
悟られて
いるかも
知れぬと。

…だとしたらやはり、
一人きりで見る
夢とは違う。

誰かと見る
夢の方が、

私は
好きだよ、
ダリユーン。

…ッあ

はっ



はあッ...!

はあっ

あ



—ダリユ...っ

す、少し止まって...っ

け



大丈夫、
ですか…？

…殿下、

ん……



はっ…

はあ

クッ
クッ



…わかり



…もう、
動いても
大丈夫だよ。

つらいよう
でしたら
一度……

大丈夫、
つらくは
無いから
続けてく

はあ





…殿下、
もう少し
声を抑えて
頂かないと…

誰かに、
聞こえてしまう
かも知れませぬ。

でも…っ
もう誰かに知られて
いるだろうと言っていたのは
おぬしだろう…？

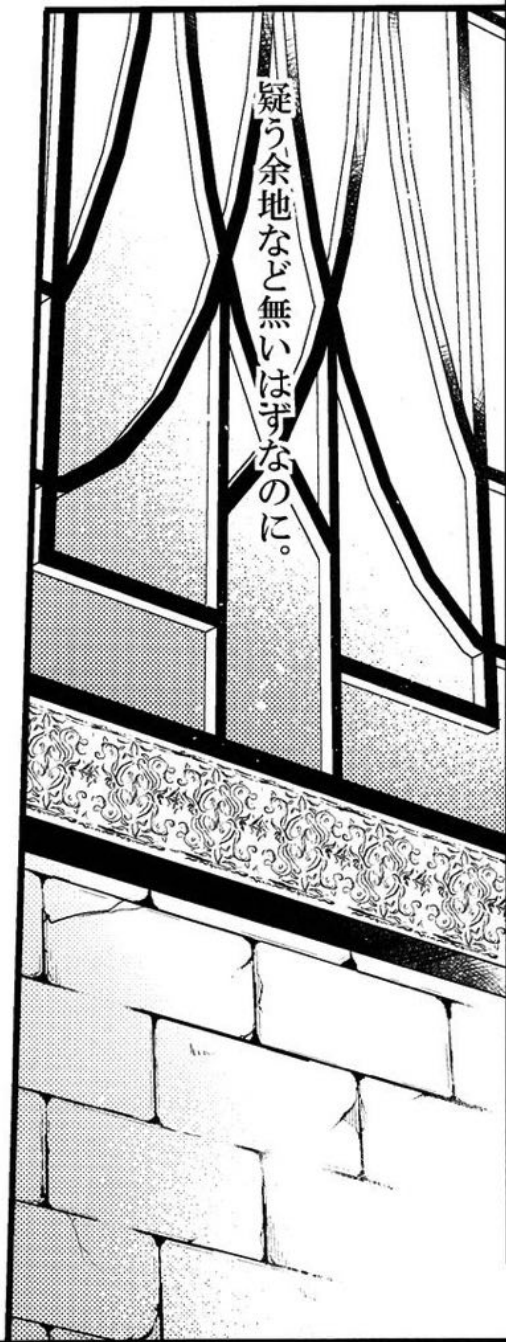
そういう
問題では
ございません。



…貴方の
このような声を、

他の誰かに
聞かせてしまうのは
惜しい。





疑う余地など無いはずなのに。



この瞬間の真偽を、

お慕い申してお
ります、
…アルスラーン殿下。

—ああでも、

夜を重ねるたびに人は変わっていくはずだ。

朝を迎えるたびに色づくはずだ。



…

…それなのに、



何度目の夜が明けた後でも

貴方はあまりにも白いままで——

∴おはよう、
ダリユーン。

殿下…。

…だから、



申し訳ございませぬ、私とした事が殿下がお目覚めに なったのに気が付きませんでした。

ああ、いや、気にしないでくれ。

私の事はいいから、ゆっくり休んでくれ。



…ありがとうございます。

殿下、よろしければひとつお願いが。

ん？

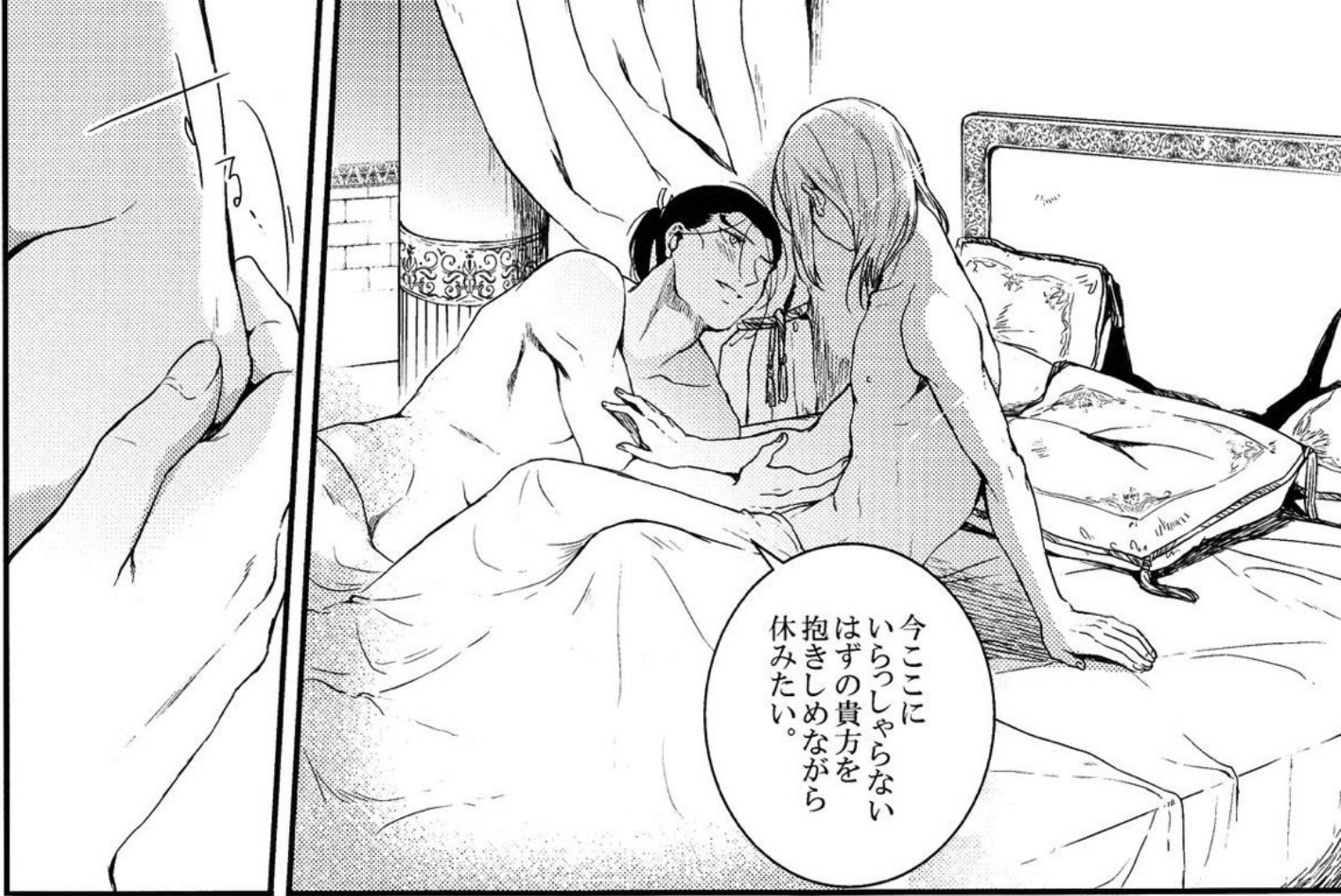


…だから、まだ休んでいてくれ。

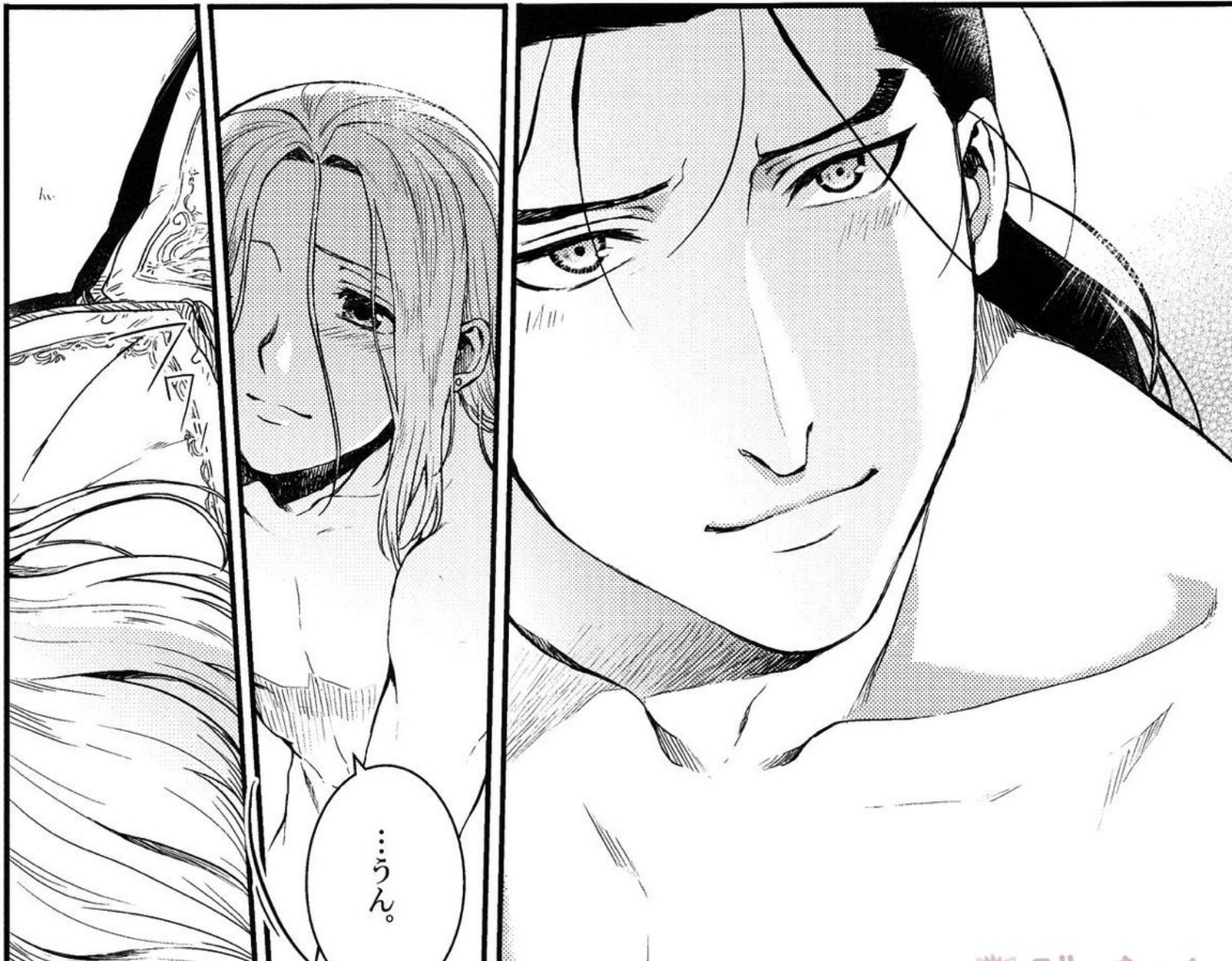


…それに、この時間なら私は、自室で眠っているからここには居ないはずで、

今、おぬしより先に目覚める、後に目覚める、無いんだよ。



今ここに
いらつしやらない
はずの貴方を
抱きしめながら
休みたい。



…うん。

井ノ

…だから、

錯覚してしまいそうになる。

これは俺があの日から見ている、

—夢の続きなのではないかと。

お読み頂き有難うございました！

いろいろ迷ったんですが、結局少しぬるめのエロになりました。

最初に出したダリュアル本『夜明けの夢の中で』の
その後のイメージでした。
なんか雰囲気的には即位後にしても良かったかなあと思いつつ。

ポエミーな感じのが続いたので
次はテンションの高めの明るい感じのダリュアルを描いてみたいです。

それでは！

2015/11 吸水

夢の続き

- 発行日 2015/11/23
- 発行 吸水性ポリマー/吸水
kyu-sui@excite.co.jp
<http://pixiv.me/po-ri-n>
Twitter@kyusui_polymer
- 印刷 大陽出版 様

※各著作権保有者様とは一切関係ございません。
※各著作権保有者様、関係者様へ当サークルの
頒布物を送付する等の行為はお止めください。



夢
の
続
き

R18

The Heroic Regend of Arslan FanBook Daryun× Arslan
Presented by Kyusuisei Polymer

